

分野	危機管理	施策	防災
分野計画名称	9地域防災計画		行政経営戦略 参照ページ P63

施策の展開（大項目）	1地域防災力の向上					
KPI (指標)	「食料・飲料、非常用の持ち出し袋など、災害時の備えをしている」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和02年度 結果	令和03年度 結果	令和04年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	50.3%(令和2年度)	50.3%	41.2%		80.0%
KPI (指標)	「災害に強いまちづくりが進んでいると思う」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和02年度 結果	令和03年度 結果	令和04年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	37.6%(令和2年度)	37.6%	33.5%		80.0%

中項目	1全庁・全市民体制による事前防災の推進		分野計画参照ページ	予防-2
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績		分析・考察	
①53050101 防災対策事業 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・水害時を想定し、気象警報や水位等の条件を付した上で、各課や各班において想定される課題を取りまとめた。 ・新規採用職員を対象に防災に関する講座を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・水害時における迅速な対応に向け、取りまとめた課題への対応をあらかじめ整理し、災害発生前からの段取りを確認する庁内訓練を実施する必要がある。 ・引き続き、新規採用職員の防災に関する理解を深めるなど、職員の防災意識の向上に取り組む必要がある。 	

中項目	2防災に関する学習等の充実		分野計画参照ページ	予防-3
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績		分析・考察	
①53050101 防災対策事業 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・本市の水害のリスク、ハザードマップや水害に関する情報入手方法、マイタイムラインの作成方法を記載した防災ブックを全戸配布した。 ・鳥飼北小学校及び鳥飼西小学校において、非常持ち出し品の準備に関するワークショップ形式の授業を実施した。 ・消費期限の近い備蓄用飲料水やアルファ化米、長期保存パン等の食糧を更新するとともに、利用を希望する小中学校14校に配布した。配布した備蓄食については、避難所体験の授業で使用するなど、防災について考える機会を提供した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・防災サポーターと連携し、マイタイムラインの作成方法を説明する場を設けるなど、防災ブックに関する理解の促進に取り組む必要がある。 ・引き続き、児童・生徒に実際の防災備蓄用品に触れる機会を提供するなど、備蓄の必要性を啓発していく。 	

②53050601 消防団活動事業 消防総務課	・消防本部敷地内、大阪府立消防学校及び神崎川河川敷において計3回（前年度比±0回）の消防訓練を実施し、延べ197人（前年度比-40人）が参加した。	・新型コロナウイルスの影響により、コロナ禍前と比較すると回数、参加人員ともに減少している。 ・今後は感染拡大状況を考慮しつつ、感染症対策を講じながら、可能な限り訓練を実施していく必要がある。
-------------------------------	---	--

中項目	3自主防災組織の育成		分野計画参照ページ	予防-5
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績	分析・考察		
①53040301 自主防災組織支援事業 防災危機管理課	・地域の自主防災訓練は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全地区で中止となった。	・今後は、感染症対策を講じて、訓練が実施できるよう支援していく必要がある。 ・地域防災力の向上に向け、防災ブックの周知や出前講座の内容を充実させる必要がある。		
②53050101 防災対策事業 防災危機管理課	・防災サポーターの登録者が少ない小・中学校区に訪問や電話にて説明を行い、それらの小学校区から13人が参加した。 ・市役所及びオンラインで、防災サポーター養成連続講座を計4回（前年度比+1回）実施し、39人（前年度比+19人）が参加した。 ・防災サポーターの登録者数は98人（前年度比+39人）となった。	・電話や訪問での制度説明から養成講座の受講につながっている方が13人おられたため、引き続き、登録者の少ない小・中学校区へ電話や訪問にて説明を行う。 ・既存の防災サポーターに対し、防災ブックの周知やマイタイムラインの作成について啓発するとともに、それらを習得するための講座やワークショップ等を実施する必要がある。		

中項目	4企業防災の推進		分野計画参照ページ	予防-7
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績	分析・考察		
① （仮称）事業継続計画策定支援事業 産業振興課	・7月に商工会で市内事業者を対象にBCP策定セミナーを開催し、参加した21者が大阪府の簡易版BCPを策定した。	・引き続き、商工会と連携し、市内事業者のBCP策定率向上に向け、セミナーの開催、啓発等に取り組む必要がある。		
②53050101 防災対策事業 防災危機管理課	・避難所開設等に必要な資機材の提供や、災害時における鳥飼仁和寺大橋有料道路の無料通行に関する防災協定を4件締結した。	・避難所開設等に必要な資機材の提供に関し、引き続き協定締結を進める必要がある。 ・広域避難の推進に向け、令和4年5月に市外企業と協定を1件締結しているが、市外の浸水想定区域外の避難場所を更に確保していく必要がある。		

中項目	5ボランティアの活動環境の整備		分野計画参照ページ	予防-10
関連する主な事業	令和03年度の取組実績	分析・考察		
①23010301 社会福祉協議会補助事業 保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉協議会が中心となり、摂津ライオンズクラブや摂津ロータリークラブ、摂津青年会議所などの市内の団体や企業、行政で構成される摂津市災害ボランティアネットワーク会議を開催し、災害時におけるこれまでの取組みや、各団体における災害支援活動について情報交換した。 ・社会福祉協議会が行うボランティアセンター活動事業に対して補助金を交付し、あつたかご近所サポーター養成講座や、施設ボランティア担当者との意見交換会が開催された。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、災害時に、各団体における災害支援活動が円滑に実施できるよう、災害ボランティアネットワークの活動に参画し、必要な情報の共有を行う。 		

分野	危機管理	施策	防災
分野計画名称	9地域防災計画		行政経営戦略 参照ページ P63

施策の展開（大項目）	2災害に強いまちづくり					
KPI (指標)	「災害に強いまちづくりが進んでいると思う」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和02年度 結果	令和03年度 結果	令和04年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	37.6%(令和2年度)	37.6%	33.5%		80.0%

中項目	1都市の防災機能の強化		分野計画参照ページ	予防-11
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績		分析・考察	
①11010301 千里丘駅西地区再開発事業 都市計画課	<ul style="list-style-type: none"> 縦覧手続を経て、事業計画を決定した。 建築物や駅前広場等の実施設計を行い、権利変換計画(案)を作成した。 一時避難場所の機能を有する屋上庭園の概要を決定した。 		<ul style="list-style-type: none"> 予定どおり進捗しており、令和4年度は権利変換計画を決定するとともに、共同住宅や商業業務施設を建築する特定建築者を選定する。 	
②53040501 防災資機材及び備蓄用品整備事業 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> 駐車場に12基のマンホールトイレを整備した味舌体育館に便座及びテントを配備した。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、公共施設の新築や大規模改修等の機を捉え、マンホールトイレや生活用水兼用貯水槽の整備等、避難所の防災機能を強化していく必要がある。 	
③55030201 道路管理事業 道路管理課	<ul style="list-style-type: none"> 11月から汎用電子申請システムを活用した道路の破損情報の収集を開始し、情報提供50件のうち大阪府へ申し送りした16件を除く34件に対応した。 道路パトロールや市民からの情報提供により、道路損傷や不法占用物等に適宜対応した。 		<ul style="list-style-type: none"> 汎用電子申請システムで提供いただいた情報は、日々の道路パトロールでは確認しきれない箇所の案件も多くあり、道路損傷などの早期発見や避難路の安全性・快適性の確保に大きく寄与した。 引き続き、効果的かつ効率的に情報を収集し、道路の損傷や不法占用物の除却に迅速に対応することで、広域避難所に通じる道路の機能を確保していく。 	
④55034101 千里丘三島線（東側）道路改良事業 道路交通課	<ul style="list-style-type: none"> 土地購入4件、移転補償7件が完了し、用地取得率が累計80%となった。 		<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、令和5年度末の完成に向け、移転交渉を進め、土地購入及び移転補償契約を実施する。 	
⑤ ランド水路親水施設管理事業 下水道事業課	<ul style="list-style-type: none"> 親水施設内の樹木の剪定(年1回)、刈込(年2回)及び除草(年3回)を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> 緑地の景観及び延焼遮断機能を維持するため、樹木の生育に合わせて適切な剪定等を実施し、親水施設の緑化保全を図っていく必要がある。 	

⑥ （仮称）防災協力農地推進事業 産業振興課	<ul style="list-style-type: none"> ・新たに生産緑地の所有者に防災協力農地への登録を依頼し、次のとおり登録申請を受け付けた。 （内訳） ■農地数：90農地のうち、32農地（35.6%） ■面積：約11.3haのうち、約4.2ha（37.2%） 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産緑地地区所有者に加え一般農地所有者に対しても依頼し、登録を促す必要がある。
⑦ 施設改修事業 水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> ・中央送水所1号配水池更新工事において、応急給水拠点に必要な緊急遮断弁を設置した。 ・中央送水所が新たな給水拠点に加わるため、災害時等に十分機能を発揮できるように中央送水所の場内配置を検討した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・中央送水所2号配水池耐震補強工事を進めるとともに、給水拠点となる場内整備も実施していく。
⑧ 配水管整備事業 水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> ・東別府地域などで管路3,183mを耐震管に更新した。 ・老朽度の著しい箇所や重要度を勘案して令和4年度の施工場所を検討し、千里丘や鳥飼本町等に決定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、重要度に加え、漏水履歴の分析、埋設年度等から更新場所を決定していく。
⑨ 公共下水道管理事業・公共下水道管理事業 下水道事業課	<ul style="list-style-type: none"> ・ストックマネジメント計画に基づく下水道施設の点検及び調査を実施した。 ・下水道管渠5スパンの補修工事を実施した。 ・大規模の開発行為について、雨水貯留槽の設置等による雨水流出抑制に努めるよう指導した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道施設の状態を把握するため、点検・調査計画に基づき、リスク評価の高い施設から管内カメラ調査等を実施していく必要がある。 ・大規模開発地からの雨水排水は、下水道施設の機能に大きく影響するため、引き続き開発者へ雨水流出抑制の指導を実施していく必要がある。
⑩53040701 情報収集伝達体制整備事業 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・Jアラート訓練を通じ、防災行政無線の作動状況を確認した。 ・電力・ガス等のライフラインを供給する各事業者と災害発生時のホットライン（緊急連絡体制）について確認した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線の音達範囲については、現在5割程度となっているため、気象情報アプリの活用を促進する等、新たな情報伝達方法について検討する必要がある。

中項目	2建築物等の安全化		分野計画参照ページ	予防-15
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績	分析・考察		
①53041101 震災対策推進事業 建築課	<ul style="list-style-type: none"> ・耐震診断10件、耐震改修1件、除却4件、ブロック塀撤去5件の補助を実施した。 ・固定資産税課が送付する税納付通知書に啓発チラシを同封した。 ・市役所で啓発パネル展を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平成30年大阪北部地震以降、所有者からの相談、補助申請ともに多く耐震意識の変化がみられていたが、年数が経過し低調であるため、大阪府等と連携した啓発の実装が必要である。 ・ブロック塀撤去補助では、大阪府の財政支援が令和3年度限りとなったため、引き続き、大阪府に対し財政支援復活を要望する。 		
②64010801 FM推進事業 資産活用課	<ul style="list-style-type: none"> ・施設所管課を対象に施設マネジメント研修を実施するとともに、施設点検の実施方法を周知した。 ・FMポータルサイトを活用し、所管課が実施した施設点検結果を取りまとめ、リスク優先度や劣化緊急度の高い施設の不具合を確認した。 ・令和2年度の施設点検結果に基づき、19施設（C判定24件、D判定6件）の修繕優先度判定を実施し、10件を修繕するとともに、8件の令和4年度予算を確保した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限りある財源で施設の安全対策を講じるため、引き続き、修繕優先度判定を実施し、優先順位に応じた修繕を実施していく。 ・現在、財源不足等が要因で事後保全が散見されるため、日常の施設点検の実施等に取り組み、予防保全に転換することで、より一層の施設の長寿命化を図っていく必要がある。 		

中項目	3水害減災対策の推進	分野計画参照ページ	予防-17
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績	分析・考察	
①55060901 排水路ポンプ場管理事業 水みどり課	<ul style="list-style-type: none"> ・4施設（鳥飼上ポンプ場、縦井路、海廻り水路、佃水路）に水位計を設置した。（対象28施設中15施設に設置完了） ・味生排水機場に遠隔監視装置を設置した。（対象30施設中27施設に設置完了） 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度は大雨が発生しておらず、効果検証が困難であるが、引き続き、有事の際に迅速かつ適切な判断と対応が行えるよう予算の平準化を図りながら監視設備を整備する必要がある。 	
② 公共下水道整備事業 下水道事業課	<ul style="list-style-type: none"> ・東別府雨水幹線建設工事の内、管渠を完成させ供用を開始した。 ・東別府雨水幹線周辺の雨水整備に着手した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・東別府雨水幹線建設工事について、令和4年6月末完成を目標とし遅延なく進める。 ・引き続き、雨水幹線周辺の浸水被害が発生した地域を中心に雨水整備を進める。 	
③53050101 防災対策事業 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省と連携し、大阪モノレール南摂津駅の駅舎に想定浸水深を表示するとともに、啓発看板を設置した。 ・水害対策に関する出前講座を5回（前年度比±0回）実施した。 ・摂津市地域防災計画に掲載されている高齢者、障害者、乳幼児等の要配慮者利用施設76施設のうち、施設閉鎖を除くすべての施設で避難確保計画の作成を完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、啓発物の設置や出前講座等を通じ、より多くの市民に洪水リスクや自助の取組等を啓発していく必要がある。 ・避難確保計画については、作成済の施設に計画の実行性を担保するための避難訓練の実施を促す必要がある。 	

中項目	4地震防災緊急事業五箇年計画の推進	分野計画参照ページ	予防-20
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績	分析・考察	
① 配水管整備事業 水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> ・新在家地内で311mの基幹管路の耐震化を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥飼送水所と中央送水所間を結ぶ基幹管路の更新は計画的に進めており、今後も継続的に施工を行う。 ・今後の更新予定箇所について、既存のルートでは地下埋設物が輻湊しており埋設が不可能なため、経路の変更を予定しているが、当初計画延長より経路が長くなることから、計画期間の延長も視野に入れる必要がある。 	
② 施設改修事業 水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> ・中央送水所1号配水池更新工事が完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、中央送水所2号配水池の耐震化を進める。 	
③53050401 消防水利整備事業 警備課	<ul style="list-style-type: none"> ・水道事業者の配水管整備に合わせて消火栓を2基新設した。 ・公共施設等の開発時に耐震性貯水槽を3基設置した。 ・定期的実施している消火栓点検や市民からの要望により、不具合のある消火栓枠等18箇所を修繕した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、水道事業者と連携を図りながら消火栓の整備を進める。 ・震災時には消火栓が使用不能となる可能性もあるため、耐震性の貯水槽の設置について、建築物の開発時に指導する必要がある。 	

<p>④53050501</p> <p>消防本部車両・資機材整備事業</p> <p>警備課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・はしご付消防ポンプ自動車のオーバーホール（分解点検）を実施した。 ・本部車両（7台）のポンプ性能点検を実施し、点検結果は良好であった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、消防車両や資機材等を計画的に整備する必要がある。 ・車両や資機材等の各種点検時に不具合があれば、適切に機能するよう速やかに修繕等を行う。
--	---	---

中項目	5危険物等災害予防対策の推進		分野計画参照ページ	予防-21
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績	分析・考察		
<p>①53041001</p> <p>危険物規制事業</p> <p>予防課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物施設の所有者、管理者若しくは占有者に対し、消防法に基づき位置構造設備の基準について17件文書による指導を行い、全ての危険物施設で改善された。また、水害対策を検討するよう指導した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・消防法に基づき位置構造設備の基準を指導することで、安全は確保される。また、法的効力はないものの、水害等の地域の特色に応じた対策についても立入検査等の機会を利用し、指導していく必要がある。 		
<p>②53041201</p> <p>保安事務事業</p> <p>予防課</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・保安3法施設の所有者、管理者若しくは占有者に対し、高圧ガス保安法・液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律や、火薬類取締法に基づき位置構造設備の基準について2件指導を行い、全て改善した。また、水害対策を検討するよう指導した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各法律に基づき指導することで、全国画一的な規制をすることができる。また、法的効力はないものの、水害等の地域の特色に応じた対策についても立入検査等の機会を利用し、指導していく必要がある。 		

分野	危機管理	施策	防災
分野計画名称	9地域防災計画		行政経営戦略 参照ページ P63

施策の展開（大項目）	3応急復旧対策の強化					
KPI (指標)	災害時における協力協定の締結数					
	推移の方向性	基準値	令和02年度 結果	令和03年度 結果	令和04年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	73件	73件	75件		92件
KPI (指標)	「災害に強いまちづくりが進んでいると思う」と回答した市民の割合					
	推移の方向性	基準値	令和02年度 結果	令和03年度 結果	令和04年度 結果	目標値(令和7年度)
	増加	37.6%(令和2年度)	37.6%	33.5%		80.0%

中項目	1情報収集伝達体制の整備		分野計画参照ページ	予防-24
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績		分析・考察	
①53040701 情報収集伝達体制整備事業 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・災害に関する情報連絡等に使用する無線通信設備等の保守点検を実施した。 ・大阪府防災情報システム（0-DIS）の操作訓練に課員全員で参加した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・防災行政無線は、市民への重要な情報伝達ツールの一つとして、災害時にも迅速に確実な運用ができるよう引き続き保守整備を実施する。 ・大阪府防災情報システム（0-DIS）については、災害発生時、迅速な入力作業等が必要であるため、誰もが使用できるよう引き続き、課員全員で訓練に参加する。 	

中項目	2総合的防災体制の整備		分野計画参照ページ	予防-27
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績		分析・考察	
①53040501 防災資機材及び備蓄用品整備事業 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・各避難所における備蓄防災資機材を更新するとともに感染症対策備品（プライバシー保護テント、AIサーマルカメラ）を配備した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時に避難所の開設及び運営を円滑に実施できるよう、引き続き、資機材を更新するとともに、必要に応じて備品を配備をする。 	
②53040801 防災訓練事業 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・水害時を想定し、気象警報や水位等の条件を付した上で、各課や各班において想定される課題を取りまとめた。 ・各避難所の担当職員が現地で備蓄品や避難場所となる部屋を確認する避難所確認訓練を実施した。 		<ul style="list-style-type: none"> ・水害時における迅速な対応に向け、いつ・どこで・誰が・何をするかをあらかじめ整理したうえで本部への報告から各班への指示までの流れを確認する庁内訓練を実施する必要がある。 ・避難所確認訓練により、備蓄品等の配置は確認できているが、災害時における円滑な避難所運営に向け、避難所開設・運営訓練を実施する必要がある。 	

③53050101 防災対策事業 防災危機管理課	・市BCP（業務継続計画）地震編の策定に着手した。	・引き続き、令和4年度中の策定に向け、応急対策業務の業務量や必要人員の精査を進めていく必要がある。
--------------------------------	---------------------------	---

中項目	3他の市町村及び防災関係機関との連携強化	分野計画参照ページ	予防-32
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績	分析・考察	
①53050101 防災対策事業 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・消防職員を防災危機管理課に配属し、現場の観点を含んだ防災備蓄品の導入等を行うことが出来た。 ・防犯に関する取組を通じて、摂津警察署との連携を強化した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、各種取組を通じて顔の見える関係を築き、消防や摂津警察署との連携を図っていく必要がある。 	
②53051801 災害応援等活動事業 警備課	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、淀川右岸河川敷での淀川水防・大阪府地域防災総合演習は、開催中止となった。 ・淀川水防・大阪府地域防災総合演習WEB講習会に参加し、風水害に関する知識を防災関係機関と情報共有した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後は感染症対策を講じながら、可能な限り訓練を実施していく必要がある。 	

中項目	4避難受入れ体制等の整備	分野計画参照ページ	予防-33
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績	分析・考察	
①53050101 防災対策事業 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時における鳥飼仁和寺大橋有料道路の無料通行に関する防災協定を締結した。 ・体育館や公民館等、11施設に災害時用カギBOXを設置し、災害発生時に避難所となる全ての公共施設への設置が完了した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・広域避難の推進に向け、令和4年5月に市外企業と協定を1件締結しているが、市外での避難場所を更に確保していく必要がある。 ・避難所の早期開設に向け、各避難所の担当職員が参加する避難所運営訓練において、鍵BOXの使用についても訓練を行う。 	
②53041101 震災対策推進事業 建築課	<ul style="list-style-type: none"> ・応急危険度判定士を5名、応急危険度判定コーディネーターを3名を登録した。 ・応急危険度判定連絡訓練は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・応急危険度判定実施には多数の判定士等が必要となるため、今後も判定士講習の受講を促し、登録者数増に努める。 ・応急危険度判定を迅速に実施できるよう、定期的に講習を受講するとともに、訓練に参加していく必要がある。 	
③53010201 市営住宅管理事業 資産活用課	<ul style="list-style-type: none"> ・指定管理者の自主事業として、希望者40人（前年度比+39人）に音声電話で1日1回の安否・体調確認をする「きずな電話」を実施した。 ■一津屋第1団地：15人 ■一津屋第2団地：4人 ■三島団地：17人 ■八町団地：4人 	<ul style="list-style-type: none"> ・希望者が増加した要因は、アンケート実施とあわせて本サービスを周知したことと考えられる。 ・災害時に避難者を受け入れるために、まずは入居者の安否確認が必要であるため、引き続き、機を捉えて本サービスを周知するなど、平時における入居者との連絡体制の構築・強化を図る。 	

中項目	5緊急輸送体制の整備		分野計画参照ページ	予防-46
関連する主な事業	令和03年度の取組実績	分析・考察		
①55031001 道路維持事業 道路管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・11月から汎用電子申請システムを活用した道路の破損情報の収集を開始し、情報提供50件のうち大阪府へ申し送りました16件を除く34件に対応した。 ・道路パトロールや市民からの情報提供により、道路損傷や不法占用物等に適宜対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・汎用電子申請システムで提供いただいた情報は、日々の道路パトロールでは確認しきれない箇所の案件も多くあり、道路損傷などの早期発見や避難路の安全性・快適性の確保に大きく寄与した。 ・引き続き、効果的かつ効率的に情報を収集し、道路の損傷や不法占用物の除却に迅速に対応することで、道路の安全性を確保していく。 		
②53050101 防災対策事業 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・国と地方公共団体の間で物資の調達等に必要な情報を共有し、調整を効率化することで、迅速かつ円滑な被災者への物資支援を実現するための「物資調達・輸送調整等支援システム」の操作・情報伝達訓練に参加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生時には、陸路の損傷や交通渋滞等で、人員輸送や物資調達などに支障が出る恐れがあるため、図上訓練や情報伝達訓練を検討していく必要がある。 ・引き続き、災害発生時に迅速かつ円滑な被災者への物資支援を行えるよう、国や大阪府が実施する「物資調達・輸送調整等支援システム」の訓練に参加する。 		

中項目	6生活必需品等の供給体制の整備		分野計画参照ページ	予防-49
関連する主な事業	令和03年度の取組実績	分析・考察		
① 防災対策事業 経営企画課	<ul style="list-style-type: none"> ・備蓄水の保管期限に合わせて、企業団配布分、購入分合わせて6,024本(251箱)を入庫した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度末の備蓄水在庫は28,200本(1,175箱)となり、目標数24,000本を確保できている。引き続き目標数以上の在庫を確保するとともに、適切な維持管理に努める。 		
② 施設改修事業 水道施設課	<ul style="list-style-type: none"> ・自家発電機に利用する燃料の備蓄状況を常に把握し、燃料タンクの上限近くまで燃料を確保した。 ・非常用発電機の燃料確保のため、緊急時に燃料を配送する業者とのヒアリングを実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・太中浄水場と千里丘送水所の非常用発電機は、燃料備蓄量の関係から半日程度しか稼働できず、長時間の停電に対応できない状況である。 ・災害時に燃料調達する方法以外に、燃料タンク容量を大きくする方法も視野に入れ、比較検討する必要がある。 		
③53040501 防災資機材及び備蓄用品整備事業 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・大阪府が示す備蓄方針に基づき、備蓄物品を更新した。 ・各避難所に感染症対策備品(AIサーマルカメラ・プライバシー保護テント)を配備した。 ・避難所開設や復旧に必要な資機材の提供に関する協定を結んだ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、備蓄物品の使用期限等を適切に把握し、必要に応じて更新する。 ・緊急調達体制の確立に向け、民間企業等との協定締結を推進する必要がある。 		

中項目	7帰宅困難者支援体制の整備		分野計画参照ページ	予防-52
関連する主な事業	令和03年度の取組実績	分析・考察		
①53050101 防災対策事業 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> ・帰宅困難者も含めた避難者を受け入れることが出来るよう、緊急避難先を新たに締結した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在の避難所の収容人数では、帰宅困難者の受け入れが困難であるため、引き続き、少しでも多くの帰宅困難者を受け入れられるよう避難先の確保を進めていく。 		

中項目	8火災予防対策、消防体制の整備	分野計画参照ページ	予防-53
関連する主な事業	令和03年度の取組実績	分析・考察	
①53040901 予防活動推進事業 予防課	<ul style="list-style-type: none"> 消防本部ホームページに、違反対象物公表制度に該当する重大な消防用設備未設置の防火対象物を3件公表、指導し、全件改善された。 J:COMデイリーニュースで救急車の適正利用や住宅用火災警報器の設置促進などについて広報活動を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防用設備等の重大な違反対象物を公表することにより、市民に対して火災が発生した場合に危険性が高い建物であるとの認識を持ってもらうことが期待できる。 違反対象物の関係者に根気強く指導を行い、公表している3件はすべて是正できた。今後も、公表する違反があれば是正していく。 	
②53050401 消防活動事業 警防第1・2課	<ul style="list-style-type: none"> 緊急事態宣言の発出に伴い消防訓練の受付を一時停止する期間があったが、市民参加型の消防訓練を80回（前年度比+5回）開催するとともに、参加した延べ2,896人（前年度比+563人）を対象に市内で発生した火災の出火原因や予防方法を紹介した。 防火に関する広報巡回等を708回実施した。 種々の災害に対応するため更新計画に基づき資機材を更新した。 （内訳）消防ホース57本、消火薬剤8缶、空気呼吸器用高压空気容器5本、自動体外式除細動器2器 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での消防訓練の実施方法等を検討する必要がある。 引き続き、更新計画に基づき資機材を整備する。 	
③53050301 指令・通信事業 警備課	<ul style="list-style-type: none"> 豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市の担当者による会議を14回開催し、広域消防指令システム構築業務委託に係る調達仕様書を作成した。 システム構築業務委託（プロポーザル方式）の要綱・評価基準等を5市で調整・作成し、実施に向けた準備を完了させた。 	<ul style="list-style-type: none"> プロポーザル参加者からの提案内容・意図を正確に把握・評価し、5市の意図を反映した、より高機能な指令システムを構築できる業者選定を行う必要がある。 業者決定から仮契約までの短期間に、細部にわたる最終的な仕様調整を行う必要がある。 	
④53051101 消防職員教育訓練派遣事業 消防総務課	<ul style="list-style-type: none"> 大阪府立消防学校へ21人、大阪市消防局（訓練センター含む）へ1人、医療機関へ17人、その他（安全衛生研修センター、自動車教習所など）へ3人を派遣した。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防学校の専科教育等が再開される傾向になってきたため、職員を派遣できており、今後も積極的に職員を派遣し、知識・技術の向上を図る必要がある。 	
⑤53050601 消防団活動事業 消防総務課	<ul style="list-style-type: none"> 摂津市消防団第二分団屯所の建替工事を竣工した。 5人の新入団員（内1名公募）を確保し、計379人（前年度比+14人）となった。 消防訓練を3回（前年度±0回）実施し、延べ197名（前年度比+40人）が参加した。 機能別消防団を除く全ての消防団員に防じんマスクを配布した。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、人員の確保、消防施設や資機材の強化を図っていく必要がある。 	
⑥53051801 災害応援等活動事業 警備課	<ul style="list-style-type: none"> 災害発生時、迅速に緊急消防援助隊を派遣できるよう出動準備訓練を2回実施した。 緊急消防援助隊出動時に使用する放射線測定器及び個人線量計の校正を実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> 緊急消防援助隊に消火隊1隊4名、救急隊1隊3名、後方支援隊1隊2名を登録し、常時出動できる体制を整えており、引き続き、被災地へ応援隊を派遣した場合でも管内の災害に対応できる体制を維持する。 	

中項目	9災害時医療体制の整備	分野計画参照ページ	予防-57
-----	-------------	-----------	-------

関連する主な事業	令和03年度 の取組実績	分析・考察
①53040501 防災資機材及び備蓄用品整備事業 防災危機管理課	・災害時救護所（休日小児急病診療所及び新鳥飼公民館）に配備している医療機器等の使用期限や数量等の定期点検及び滅菌消毒を実施した。	・引き続き、災害時救護所に配備している医療機器等を適切に維持・管理していく。

中項目	10ライフライン確保体制の整備		分野計画参照ページ	予防-60
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績	分析・考察		
① 防災対策事業 経営企画課	・組立式給水タンク設置訓練の中で、資材に劣化や不具合等がないことを確認した。	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、目標数となる組立式給水タンク14基、緊急用給水栓14基、非常用飲料水袋6,000袋を確保できている。 ・上下水道ビジョンの中間見直しに向け、目標水準の妥当性を検証する。 		

中項目	11廃棄物、防疫・衛生対策		分野計画参照ページ	予防-64
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績	分析・考察		
①54030701 ごみ収集処理事業 環境業務課	・災害廃棄物処理計画策定に向け、災害廃棄物の仮置場の選定や分別の周知方法等の課題整理を行い、実際に利用可能な仮置場と集積所の状況を確認検討し、片付けごみの現実的な処理プロセスについて検証した。	<ul style="list-style-type: none"> ・発災時に想定される災害廃棄物の集積と収集運搬方法等について、地域モデルを選定し、住民と連携しながら災害廃棄物搬出マニュアルの策定を進めていく。 ・コロナ禍におけるワークショップ等の意見集約実施であることから、十分な検証ができるよう考慮しながら進める必要がある。 		
②53050101 防災対策事業 防災危機管理課	・環境業務課が作成する災害廃棄物処理計画の検討会議に参加し、災害廃棄物の仮置き場の選定や分別の周知方法等の課題について協議した。	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度に計画を策定予定であるが、平時から災害時における廃棄物の処理に関するフローを確認しておく必要がある。 		

中項目	12学校園所の体制強化、文化財の保護対策		分野計画参照ページ	予防-65
関連する主な事業	令和03年度 の取組実績	分析・考察		
① 防災教育の推進（一般事務事業） 学校教育課	・市の防災タウンページの活用等を通じた防災教育の授業や体育館を避難所とする訓練を実施するなど、各校が工夫を凝らして防災教育の授業を実践した。	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、児童・生徒の意識高揚及び理解促進に向け、防災教育の授業等を実践していく。 		

中項目	13災害時要援護者対策		分野計画参照ページ	予防-67
関連する主な事業	令和03年度の取組実績	分析・考察		
①23100701 災害時要援護者支援事業 保健福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時要援護者名簿の受取協定に関して、関心を示していただいた自治会へ個別説明を行ったが、解散となった自治会もあり、地域支援組織は58組織に減少した。（前年度比-2件） 	<ul style="list-style-type: none"> ・現状、災害時要援護者支援に関する覚書を締結する地域支援組織は自治会のみとなっているため、民生委員を地域支援組織に加えるなど、多角的な運用を検討していく必要がある。 		